

(仮称)焼津市 DX 推進計画 策定方針

1 計画の目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会全体のデジタル化・DX化が強く求められている中、「より質の高い市民サービスへの変革」「自治体運営の効率化」「地域社会の活性化」の3つの視点でDXを推進するため、「(仮称)焼津市DX推進計画」を策定する。

2 策定の考え方

- (1) 計画は、デジタル化の進展による「Society5.0」(例:10年後の社会)をイメージし、現状との課題を導出、取り組むべき内容を整理する。
- (2) 取り組むべき内容は、2022年度から2025年度の期間(短期)の事業を整理するとともに、中長期の目指す姿を掲載する。(焼津市総合計画の期間と合わせた計画とする)
- (3) 第6次総合計画第2期の政策・施策と合わせ、具体的な取組事項を整理する。

3 策定体制

(1) 行政経営会議 (DX 推進本部会議)

市長をトップに庁内の関係幹部職員による方針決定の会議 (5回程度開催予定)

(2) DX 推進プロジェクトチーム

デジタル戦略課を主管課とし、必要に応じ庁内職員で構成する策定チーム

(3) 支援体制

内閣府「地方創生人材支援制度」により、NTT西日本から策定支援を受ける。

(4) 市民の皆様からの聴き取り

- ①関係機関、関係団体からの意見は「総合計画等審議会」及び「焼津未来創生総合戦略推進会議」にて、策定方針や素案等の説明をし、意見をいただく。
- ②市民のデジタル意識・意見等の聴き取り調査済。今後のパブコメに合わせ、計画内容を動画配信し、広く意見をいただく。

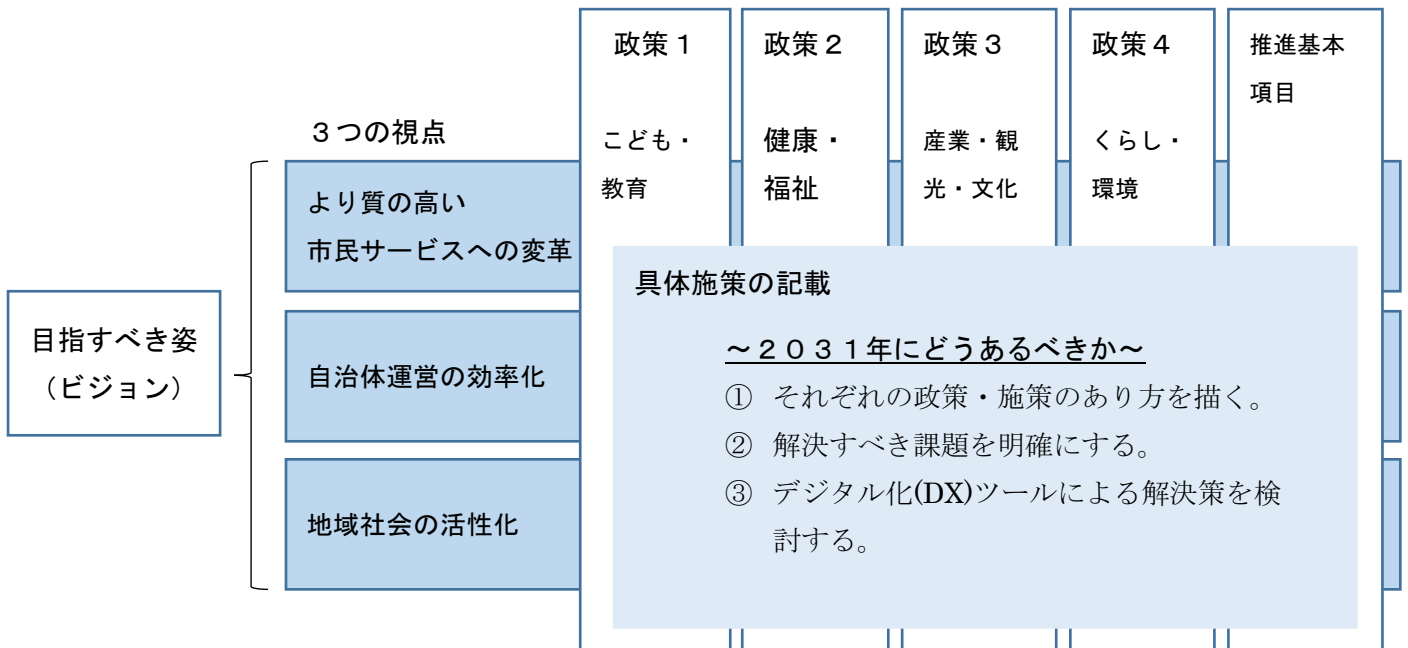
4 策定スケジュール

4月～5月	庁内各課ヒアリング (約60課)
6月	基本方針、課題整理
7月～8月	素案策定
10月	計画案策定、パブコメ
11月	計画決定

5 その他

- (1) 国の「自治体DX推進計画」(R2.12月)と整合を図るものとする。
- (2) 「焼津市情報化推進計画(第3版)」の内容を包含しつつ、コロナ禍による社会情勢の大きな変化を踏まえ、新たな計画として、大幅に刷新するものとする。

【計画の具体的イメージ】



【策定体制イメージ】

